

神経内科専攻医研修カリキュラム

1 研修目標

- ・ 神経疾患の多様性に対応した診断能力を習得して、検査・治療方針を決定して説明しうる能力を身につける。
- ・ 日本内科学会認定医、日本神経学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本老年学会専門医に必要な知識・技術を身につける。
- ・ 患者・家族に対して適切に対応し、研修医・医学生に対して適切に教育ができるとともに客観的に自己評価できる。

2 研修内容

各年次とも、診療行為においては常に指導医との連携を前提とする。具体的には、治療方針の決定、変更に際しては指導医の了解を得る。侵襲的手技を施行する場合は可能な限り(1年次は必ず)指導医の監督下で行う。夜間・休日に重大事項が発生した場合は指導医の立ち会いのもとに対処する。

1) 1年次

- (1) 正確な神経学的所見をとり局在診断を行う
- (2) 腰椎穿刺をして髄液所見を評価する
- (3) 脊椎レントゲン・MRI, 頭部 CT, MRI、SPECT を読影する
- (4) 脳波、筋電図、自律神経検査を評価し報告する
- (5) 頸部超音波検査を習得する
- (6) 代表的な神経疾患(脳梗塞やパーキンソン病など)の治療方針を習得する
- (7) 急性疾患(てんかん, 脳炎, ギランバレー症候群など)の治療を習得する

2) 2年次

- (1) 的確な鑑別診断のもとに検査方針をたてる
- (2) 神経難病の治療・介護を習得する
- (3) 高次脳機能検査を習得する
- (4) 筋電図や自律神経検査の技術を習得する
- (5) 脳神経外科をローテートして脳血管撮影を学ぶ
- (6) コメディカルとともに治療計画をたてる
- (7) 神経学会地方会、内科学会地方会、研究会で演題発表を行う

3) 3年次

- (1) 総合的評価のもとに治療方針をたて患者・家族に説明を行う
- (2) 神経内科外来を行う(1回/週)

- (3) 神経内科専門医試験、脳卒中学会専門医試験、老年医学会専門医試験に合格できる技術・知識を習得する
- (4) 神経学会総会、脳卒中学会総会、老年学会総会で筆頭演者として発表を行う

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	部長総 回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診 頸部エコー検査（経 食道エコー）	病棟回診
午後	NPC	副院長総 回診 NRC	電気生理学的検査	NC	新患回診

NPC: 合同カンファレンス, NC: 神経内科カンファレンス
NRC: 神経放射線カンファレンス（月1回）

3 評価項目

- A 目標レベルを超えている
- B 目標レベルにほぼ達している
- C 目標レベルに達していない

	自己評価			指導医評価		
	A	B	C	A	B	C
プライマリケアができる						
正確な神経学的所見がとれる						
局在診断と鑑別診断ができる						
画像診断ができる						
電気生理検査を行い評価できる						
検査・治療方針を立案し説明できる						
患者、家族に病状説明できる						
コメディカルと協調できる						
チーム医療ができる						
学会活動ができる						